

IBM との取引

日本の ReaQta ビジネス・パートナー様向けガイド



IBM へようこそ

2021年11月2日、IBM Security は ReaQta BV および ReaQta Pte Ltd (以下「ReaQta」と総称します。)を買収し、サイバーセキュリティの脅威に対する検知および対応能力を拡張する計画を発表しました。ReaQta は、トップレベルの AI 自律検知・応答プラットフォームです。2022年9月1日、ReaQta のビジネスは、IBM Corporation および IBM Corporation の関連会社 (以下「IBM」と総称します。)に移行し、執り行われます。

この「IBM との取引」ガイドでは、IBM のビジネス・システムおよびプロセスへのスムーズな移行を支援するために予想される運用上の変更点、および利用できるリソースについて説明します。本ガイドに記載されている内容をご確認いただき、貴社内で ReaQta と IBM と連携している関係者と、この情報を共有してください。この情報は、2022年9月1日以降もサービスがアクティブで既存の権利が継続する ReaQta チャンネルの既存の契約に関連するものであることにご留意ください。

5月末に、招待状を受信されていると思いますが、[PartnerWorld](#) に加入し、IBM のパートナー・プログラムにお申込みいただくことで、IBM 認定ビジネス・パートナーとります。同書は、ReaQta チャンネル契約の重要な変更についても説明しています。かかる書面を受け取っていない場合、または IBM パートナー・プログラムに関してご不明な点がある場合は、IBM ReaQta 担当員までお問い合わせください。

IBM パートナー・プログラムへのお申込みをまだ完了していない場合、2022年9月1日以降は、新規ビジネスの大多数にかかる契約を介して行う必要があるため、ご都合の良い時になるべく早急にパートナー・プログラムへのお申し込みを完了してください。

当社の目標は、この移行を可能な限りスムーズに行うことです。この情報の確認時に、ご不明な点がある場合、またはサポートが必要な場合は、IBM ReaQta 担当員にお問い合わせください。

重要事項

2022年9月1日より、お客様の ReaQta との有効な契約は、お客様が所在する国で取引を行う IBM カンパニー、または該当する場合はお客様の所在地にサービスを提供する国の IBM カンパニーが管理します。別途連絡により契約譲渡の正式通知をお送りします。

重要なアクション: IBM アカウントの作成 p. 2
課金と請求書発行方法の変更 p. 3
新規購入と契約 p. 7
更新 p. 8
データ処理 p. 9
テクニカル・サポート – ReaQta.Support@ibm.com p. 9
プロフェッショナル・サービス p. 10
プライバシー・ポリシー p. 10

重要なアクション: IBM アカウントの作成

IBM は、お客様がアカウント情報、支払い方法、サポート・リクエストなどを便利で安全な場所で簡単に管理できるように、[「My IBM」](#) ポータルを提供しています。「My IBM」や、本書で参照されているその他のオンライン・ツールにアクセスするには、まず IBM アカウント（通常 IBMid と呼びます）を作成する必要があります。注記: これは、PartnerWorld 用の ID とは別の ID です。

ステップ 1: 固有の IBMid を持つ IBM アカウントを作成する

IBM アカウントに登録すると、My IBM ポータルやその他の IBM.com アプリケーションにアクセスできるほか、トライアル、デモ、スターター・キットなどの充実した機能を利用できます。

IBM アカウントはこちら (<https://www.ibm.com/account>) で作成してください。IBM アカウントの登録に使用した E メール・アドレスがお客様の IBMid となります。

現在 IBM のアカウントをお持ちのお客様、またはパートナー様は、既存のアカウントを引き続きご利用いただけますので、新規にアカウントを作成する必要はありません。紛失した IBMid またはパスワードの復旧についてサポートが必要な場合は、下記の IBMid ワールドワイド・ヘルプ・デスクにお問い合わせください。

注記: 新しい IBMid を使って IBM のアプリケーションにアクセスできるようになるまで、最大で 15 分程度時間がかかる場合があります。

ステップ 2: プロファイルを完成させる

IBM アカウントを作成し、IBMid を使用して My IBM にログインしたら、連絡先情報や好みを追加して[プロフィール](#)を完成させます。

サインインでお困りですか？

追加情報やガイダンスについては、IBMid のワールドワイド・ヘルプ・デスク: <https://www.ibm.com/ibmid/myibm/help/jp/helpdesk.html> を参照してください。

課金と請求書発行方法の変更

2022 年 9 月の請求サイクルより、請求書の取引先名と送金先が ReaQta のものから IBM のものに変更となります。IBM の請求書に記載されている通りに送金できるようにするために、お客様のシステムとプロセスを更新して、支払いが適切に行われるようにしてください。

お客様番号

2022 年 9 月 1 日以降、IBM の請求書および注文関連の通信には、IBM がお客様のアカウントを識別するために使用するお客様番号が含まれます。

注記: お客様番号は、登録時にお客様が選択し、IBM のアプリケーションにアクセスする際に使用する IBMid とは異なります(「重要なアクション: IBM アカウントの作成」の項を参照してください)。

請求や支払いに関する質問

IBM が発行する請求書や支払いに関するご質問は、[お客様サポートの Web サイト](#)をご覧ください。この Web サイトでは、セルフサービスのオンライン・ツールへのアクセス、よくある質問への回答、IBM お客様サポート・チームへのオンラインまたは電話でのお問い合わせの選択肢を見ることができます。

お客様の便宜を図るために、「カスタマー・サポート」Web サイトおよび電話番号は、IBM からの請求書にも記載されています。

注文書

IBM に新たな発注書 (PO) を発行しないと IBM の請求書が支払えない場合は、新たな発注書を発行するために今すぐ必要なお対応をお願いします。有効な契約のための将来の請求条件を持っているお客様は、IBM から新規 PO 送信のために連絡が入る場合があります。

税金

ReaQta の納税者番号は IBM のものに変更されます。

IBM の請求書には、地域、都道府県、および国ごとに適用される税金が含まれています。（ただし、IBM に登録されている有効な税金免除の証明書をお持ちの場合はこの限りではありません）。販売を維持し、税金免除または地域の付加価値税免除のステータスをお客様のアカウントに使用するためには、有効な免除証明書を売掛金担当者またはカスタマー・サポートに提供する必要があります。免除証明書はお客様のサービス・アドレスに基づいている必要があります。

税金免除証明書や IBM の請求書に適用される税金に関する説明については、[「カスタマー・サポート」](#)にお問い合わせください。「カスタマー・サポート」Web サイトのアドレスは、IBM からの請求書にも記載されています。

請求書の送信と頻度

2022 年 9 月以降、IBM からの ReaQta ソフトウェア・オフリングの請求書は、お客様のアカウントに登録されている「請求先」の連絡先に電子メールで送信されます。多くの場合、これらの請求書の発行頻度は、ReaQta の時と変更はありません。

ReaQta のサービスおよび作業明細書 (SOW) に対する IBM からの請求書は、ソフトウェアの請求書とは別に発行されます。

標準的な支払条件

IBM の標準的な支払条件である「受領時支払」は、IBM 発行の請求書に自動的に表示されますが、IBM は、有効な ReaQta との契約で設定された支払条件を、既存の契約期間中、引き続き尊重します。

注記: IBM の売掛金担当者から支払い遅延の連絡を受けた場合は、お客様が ReaQta との契約で定義された固有の支払い条件を持つ従来の ReaQta のビジネス・パートナー様であることを担当者にお伝えください。

オンラインで請求書にアクセス

「Invoices@IBM」は、IBM の請求書をオンラインで閲覧できるポータルで、その他にも多くの機能を備えています。請求書の情報を表示、印刷、ルーティング、スプレッド・シートにダウンロードすることができます。請求書を見て質問がある場合は、オンラインで照会できますので、電話をかけなくてもすぐにサポートを受けられます。ログイン時にお客様番号、請求書番号、日付範囲を指定すると、アカウントに関連付けられているすべての請求書のリストが表示され、閲覧することができます。お客様のアカウントに新しい請求書が発行されると、電子メールによる通知が送信されますので、すぐにログインしてアクセスすることができます。

「Invoices@IBM」はこちら (<https://www.ibm.com/support/customer/invoices/welcome>) からご覧いただけます。

注記: 初めてご利用になる方は、IBMId を使用してログインし、簡単なサインアップ登録プロセスを行う必要があります。登録が完了すると、請求書とお客様のアカウントを関連付けるために、お客様の IBM 請求書に記載されているお客様番号が必要となります。

貴社が現在、電子請求書発行プラットフォームを介して ReaQta の請求書を受信し、同じプラットフォームを介して IBM の請求書を受け取るために、システム構成のサポートが必要な場合は、「カスタマー・サポート」Web サイトに記載の[連絡先オプション](#)のいずれかにご連絡ください。当社の電子請求書エキスパートがご連絡します。

請求書払いの場合の取引先名と送金先情報

IBM が発行する最初の請求書から、支払いのための取引先名と送金先情報は、お客様の所在地を担当する IBM のローカル/リージョン・オペレーションに変更されます。銀行口座情報と支払い方法は、IBM からの請求書に記載されています。

クレジットカードや電子データ交換など、IBM 同意済みの支払い方法に関する情報は、「カスタマー・サポート」Web サイトの[FAQ](#)の「請求および支払いについて」セクションでもご覧頂けます。

注記: ReaQta から発行された請求書については、支払いが正しく行われるよう、請求書に記載されている ReaQta の旧送金先住所を引き続き使用してください。

通貨

ReaQta のソフトウェアとサービスに対する IBM 発行の請求書の通貨は日本円 (JPY) に変更されます。

言語

IBM の請求書は、お客様の地域でサービスを提供する IBM エンティティの言語で発行されます。一部の国では、IBM の請求書が以前の ReaQta の請求書で使われていた言語と異なる言語で作成されることがあります。

製品名と説明

ReaQta の製品とサービスの名称および説明は、IBM の名称および説明に置き換えられます。これらの新しい名称と説明は、IBM からの請求書や見積書に記載されるようになります。

新規購入と契約

IBM からの新規の純仕入れは、リセラー、または認定バリュー・ディストリビューター (VAD) を通じて、または「Embedded Solution Agreements」(ESA)を含む IBM チャンネル契約に基づいて行われる必要があります。ライセンスの期間が終了するまで、割り当てられた ReaQta チャンネルの契約を介して、既存の契約ライセンスに対する取引の拡大が認められます。

クレジット

IBM と直接取引する IBM の各ビジネス・パートナー様 (関係性ティア 1) にとって、信用評価は注文管理プロセスの 1 つのコンポーネントです。信用評価は、2022 年 9 月 1 日以降で最初の取引時に行われます。大多数のケースでは、信用評価は一般に入手可能なデータの機能です。信用評価が無い場合は、信用調査のために財務諸表が必要となります。かかる要求には通常、直近 2 年間の監査済みの損益計算書と貸借対照表が使用されます。

まれではありますが、IBM との直接取引が、現金主義 (注文時の支払い) のみ、または銀行の保証付のみで行われることもあります。

クレジットの購入は、近い将来に予測される収益の発生に対応して許諾され、売上履歴と支払履歴および貴社の規模と財務力の影響を受けます。また、有効な ReaQta の契約で提示されている支払い条件は、お客様の現在の契約の期間中は IBM によって尊重されます。

最後に、販売予測を使用して、ソフトウェアの注文書を実際に提出する前に信用評価が行われることもあります。お客様の IBM ReaQta パートナー担当者が、IBM 内でこの処理を管理します。

クレジットの購入の他に、IBM グローバル・ファイナンスは、クレジット・ラインやエンド・ユーザー・ファイナンスなどの適用可能なその他のプログラムを提供します。関心をお持ちの場合は、お客様の IBM ReaQta パートナー担当者にご連絡ください。

更新

ReaQta の更新は、以下に規定する段階的なアプローチで **IBM** のプロセスと **IBM** のご利用条件に統合されます。

2022 年 9 月 1 日 以前の更新日

更新を迎えるパートナー様、または 2022 年 9 月 1 日以前に契約が終了するパートナー様は、ReaQta から更新通知をお受け取りになっているはずですが、サービスに支障が出ないように、通知に記載された期日または 2022 年 8 月 31 日のいずれか早い期日までに更新するか否かをご確認ください。

2022 年 8 月 31 日までに更新されなかった契約については、2022 年 9 月 1 日以降、**IBM** 標準取引条件に基づいて、**IBM** より再度見積りを提示させていただきます。

2022 年 9 月 1 日 から 2022 年 10 月 31 日までの間の更 新日

2022 年 9 月 1 日から 2022 年 10 月 31 日までに更新を迎えるパートナー様は、ReaQta から更新レターと見積書をお受け取りになっているはずですが、サービスに支障が出ないように、ReaQta のご利用条件の、2022 年 8 月 31 日までに更新するか否かをご確認ください。

2022 年 8 月 31 日までに更新されなかった契約については、2022 年 9 月 1 日以降、**IBM** 標準的なご利用条件に基づいて、**IBM** より再度見積りを提示させていただきます。

2022 年 8 月 31 日 以降の更新日で 2022 年 9 月 1 日 以前に更新されな い

更新は、**IBM** の標準的なご利用条件に基づいて **IBM** がお見積りいたします。

データの処理

お客様の ReaQta との契約に関する IBM の通知に従って、IBM は、契約サービスを提供する目的で、データ処理に関連する新しい「処理者」となります。IBM は、「復処理者」の追加または交替の予定を反映し、「復処理者」のリストを最新の状態に保ちます。お客様は、「復処理者」のリストに対する変更が通知されるように、IBM Terms サイト (ibm.com/terms/?cat=dpa-exhibits) で対応する「DPA 別表」の更新を受信するように登録するものとします。お客様が自動通知に登録していなくても、上記リンク先にアクセスして最新の「復処理者」リストをいつでも確認することができます。

IBM データ処理補足契約書 (DPA) および別紙 (<http://ibm.com/dpa>) (DPA) は、お客様の契約に基づいて処理される個人データに、i) EU の一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://ibm.com/dpa/dpl> の他のデータ保護法が適用される場合およびその範囲で適用されます。

テクニカル・サポート – ReaQta.Support@ibm.com

2022 年 9 月 1 日、ReaQta テクニカル・サポートの連絡先として使用されていた電子メール・アドレスの Support@ReaQta.com は、新しい IBM の電子メール・アドレス ReaQta.Support@ibm.com に変更となります。2022 年 9 月 1 日以降、ReaQta テクニカル・サポートに連絡する場合は、お客様の組織内の適切な担当者は ReaQta.Support@ibm.com をご利用いただく必要があることを確認してください。

今後のアップデート

当社は、テクニカル・サポートの統合を進めながら、お客様に、既存の IBM のインフラストラクチャーを利用した拡張機能を提供していきます。サポートのご利用方法が変更される際は、事前にお知らせします。

プロフェッショナル・サービス

IBM は、MDR、構成、実装、プロビジョニング、コンサルティング、および研修を含む現在進行中の ReaQta サービスの契約および SOW を引き受け、当初の契約通りに実行します。関連する提供方法やスタッフに関してはすぐには変更の予定はありません。

2022 年 9 月 1 日以降、既存の SOW の延長や変更は、IBM の契約を使用して行われます。

プライバシー・ポリシー

IBM ではお客様のプライバシーを尊重し、責任をもってお客様の個人情報の保護と処理を行っております。IBM プライバシー・ステートメントは、IBM がお客様の情報を収集、使用、共有する方法について定めています。これには、IBM がお客様との契約関係を管理する際に処理する連絡先個人情報やアカウント情報などの個人情報が含まれます。IBM のプライバシー・ポリシーは、オンライン (<https://www.ibm.com/privacy>) でご覧いただけます。

お客様のデータ処理契約またはプライバシー・ポリシーに関してご不明な点がある場合は、IBM 担当員にご連絡頂くか、または IBM がお客様の情報を収集、使用、共有する方法に関するご不明な点は IBM のプライバシー・ポリシーに記載されている連絡先情報をご覧ください。